富山県支部での講演要旨

2018 年 5 月 30 日

日本の開発協力の起源

～八田與一を中心にして～

渡辺　利夫

（公財）オイスカ会長

拓殖大学学事顧問

■後藤新平の開発思想

1）明治時代は、世界的に見て帝国主義の時代であった――強国が弱小国を併呑することに全く躊躇のない、当たり前のことだと考えられていた時代。日本は「弱肉強食」の世界の中にあった。

2）日清戦争の勝利と台湾割譲・統治

3）後藤新平は、台湾経営の基礎を築いた、明治期日本の代表的な有能な官僚であり政治家であった。

4）後藤新平の哲学――「生物学的開発論」＝開発経済学の思想の根本

5）後藤新平による台湾経営の実績

① 台湾銀行の設立と貨幣統一。事業公債の発行によりインフラ整備

② 基隆～高雄の縦貫鉄道の完成

③ 基隆と高雄でのみごとな港湾構築

④ マラリア、ペスト、コレラなどの熱帯病駆逐のための上下水道の設置

⑤ アヘン吸引の習慣を完全に排除

⑥ 初・中等、高等教育の普及への着手（50年の統治期間で20万人の留学生を日本へ）

■蓬莱米の創成――磯　栄吉、末永　仁（むぐむ）

1）蓬莱米：10年以上かけて二人が粒粒辛苦の努力の果てに生み出した高収量改良品種

2）アジアでの拡大・普及運動＝「緑の革命」へ。アジアの人々を救う

■八田與一の一大プロジェクト

1）10年以上をかけた巨大な烏山頭ダムの建設と壮大な嘉南平野の灌漑計画

2）嘉南平野での大量の蓬莱米の栽培――アジアで有数の穀倉地帯に

■明治の時代精神

1）「不羈独立」の気概

2）八田與一は台湾で最もよく知られ、今なお深い尊敬を受けている日本人

臺灣全圖
灌溉區域
臺北州
花蓮港廳
臺東廳
新竹州
臺中州
高雄州
臺南州
縮尺百萬分之壹
縮尺貳十萬分之壹
0 1 2 3 4 5 里
N
嘉義
臺南
北港
斗六
斗南
大林
民雄
水上
南靖
白河
番社
關子嶺
前大埔
烏山頭
烏山嶺
蓮宅
玉井
南靖
台南
台東
線
南幹線
北幹線
大內
山上水源地
新化
善化
麻豆
安定
學甲
北門
佳里
七股
鹿草
朴子
水林
四湖
東石
布袋
新港
鰲鼓
塭子潮
北港溪
八掌溪
急水溪
曾文溪
鹽水溪
安平
媽祖宮
土城子潮
安順
店子
柳營
番子田
官田
大內
玉井
南靖
台南
台東
線